

第4回那珂川町文化祭

11月2日、3日の2日間、町総合体育館で文化の秋を彩る書道や文芸、絵画などが展示され、町内外の見学者でにぎわいました。

また、8日には小川総合福祉センターあじさいホールで邦楽民謡舞踊祭が、23日に馬頭総合福祉センターで歌謡祭が開催され、自慢ののどを披露しました。



菊花展・菊花盆栽展で色とりどりの菊花咲き競う

11月2日から9日にかけて、馬頭広重美術館で菊花展が、小川総合福祉センターあじさいホール前で菊花盆栽展が開催され、丹精された約150点もの立菊や盆菊、懸崖などの菊花が会場を埋め尽くし、大勢の見学者が訪れました。

なお、小川地区菊花盆栽展の受賞者は次のとおりです。(敬称略)

- | | |
|-----------|-------|
| 町議会議員賞 | 小泉 晴夫 |
| 農業委員会賞 | 小室 清是 |
| 商工会長賞 | 山田 栄治 |
| 観光協会賞 | 軍司 孝一 |
| 文化協会賞 | 川上 満 |
| 那須南農協賞 | 秋元 正吾 |
| 那須信組馬頭支部賞 | 薄井 弘光 |
| 株まほろば小川賞 | 大森 一美 |
| 菊花盆栽会長賞 | 小口喜久寿 |
| | 阿見ケエ子 |



第30回児童館まつり

30回を迎えた「児童館まつり」が11月8日、小川公民館で開催され、約100人が参加しました。

薄井博美児童館運営委員会会長は「児童館まつりは今日で30回を迎えました。参加された皆さんは仲良く、小さい子の面倒を見ながら楽しく過ごしてください」などとあいさつ。まず、全員でクルクル円盤を製作し、それを使った円盤投げやダンボール迷路早抜け競争、ビーズ通し競争などのゲームを行いました。

「チャレランピック」と題する遊びに、児童たちは目を輝かせて次々とゲームにチャレンジしていました。



百歳の関谷ミユキさんと田所キクさんを町長が訪問

11月13日に100歳を迎えた関谷ミユキさん(神田町)と26日に迎えた田所キクさん(小川)を川崎和郎町長が訪問。祝い金と花束が贈られました。

関谷ミユキさんは手先が器用で、94歳の時まで羽子板や5円玉で製作する五重塔やかぶと作りに精を出していたということです。

現在は、老人保健施設「かたくりの郷」に入所していて、孫のあけみさんは「何でも好き嫌いなく食べ、毎日他の入所者と仲良く過ごしています」と話していました。



不用入れ歯
回収ボックスを設置

NPO法人日本入れ歯リサイクル協会と町社会福祉協議会は11月18日、馬頭総合福祉センターで「不用入れ歯回収ボックス」の設置式を行いました。

日本入れ歯リサイクル協会の三好勇夫代表理事は「入れ歯には金や銀、パラジウム合金などの貴金属が使われていて、これらの資源を有効に活用するため全国的に入れ歯回収ボックスを設置しています。那珂川町の設置は204番目であり、入れ歯は価値があるということを知ってもらうとともに、皆さんが手軽に回収ボックスを活用して、地域福祉に役立てほしい」とあいさつしました。

なお、設置場所は次のとおりです。役場本庁、小川支所、社会福祉協議会（馬頭総合福祉センター、小川総合福祉センターすこやか共生館）、馬頭健康管理センター、地域包括支援センター



「すくすくの森」に
木を植えよう

新町育成会主催による植樹会が10月25日、すくすくの森で行われ、約20人が参加しました。

愛宕神社からの遊歩道を登り植樹地に着くと、子どもたちは植え方の説明を真剣に聞き、スコップを使ってサクラの苗木を植えました。植えた木にプレートを掛けて終了。その後にはみんなで風クラブによるオカリナの演奏を聴き、地元のお母さんたちが作ってくれたカレーをお腹いっぱい食べました。

植樹会に際して遊歩道の下刈りなどを行った新町すくすくの森有志の会の皆さんは、「植樹した木を後で見に来て、山に親しんでくれたらうれい。また来年もやりたい」と笑顔で話していました。

野球連盟審判部員が
AEDの使い方を講習

11月8日、町野球連盟審判部員15人が参加し、小川健康管理センターでAED（自動体外式除細動器）の講習会を開催しました。

講師の小川分署救急救命士からAEDの扱い方のほか、人工呼吸法、熱中症等の初期対応法や練習やゲーム中に起こりうるケガや病気の初期対応法の指導を受けました。

参加者は「町の施設にAEDがあることは知っていたが、実際に触れるのは今回が初めてで、安全で誰にでも使えることがわかった」、「今後、体育協会などと連携をとりながら、多くのスポーツ団体にも勧めたい」と話していました。



秋の那珂川路を満喫！
みんなで歩こう まほろばの里

だれでも参加できるウォーキングを実施し、町民ひとり1スポーツ推進の底辺拡大を図ろうと11月9日、「第6回まほろばの里歩け歩け大会」が、小川総合福祉センターを発着点に開催されました。

幼児からお年寄りまで148名の参加者は、初心者（6キロ）、標準（9キロ）、熟練（12キロ）の3コースに分かれ、順次、出発。標準・熟練コース途中の大日堂（浄法寺）では、福嶋正町文化財愛護会会長（芳井）から「いろはカルタは大人の文化」と題した講話があり、参加者は、「スポーツの秋」と「文化の秋」の両方を満喫した1日となりました。

